

福島第一原子力発電所

1号機燃料取扱機 支保設置作業の完了について

< 参考資料 >
2020年10月23日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 1号機では使用済燃料プール（以下「SFP」）からの燃料取り出しに向けて、原子炉建屋上部のガレキ撤去作業を行っています。
- 今後、南側崩落屋根のガレキ撤去により、天井クレーンや燃料取扱機（以下「FHM」）に位置ずれや荷重バランス変動が発生し、FHMが落下し、ダストが飛散するリスクおよび燃料等の健全性に影響を与えるリスクを低減するため、10月6日からFHMに支保を設置する作業を実施しています。
- 10月20日にオペレーティングフロア（以下「オペフロ」）南側作業床から、FHM下部へ支保梁の挿入作業を行い、本日（10月23日）FHMと支保梁の間隙部への矢板の設置作業、および支保梁の先端部への転倒防止金具の設置作業が完了したことに伴いFHM支保設置作業が完了しました。
- これにより、今後、南側崩落屋根のガレキ撤去の際、万が一、天井クレーンやFHMに位置ずれや荷重バランスが変動が発生した場合においても、FHM落下に伴うダスト飛散のリスクおよび燃料等の健全性に影響を与えるリスクを低減することができました。
- 引き続き、天井クレーンへの支保設置作業を行い、2027年度から2028年度に開始予定の燃料取り出し作業に向けて、安全を最優先に、慎重に作業を進めていきます。



➡ : 図2の撮影方向 ➡ : 図5,6の撮影方向範囲 [] : Xブレース撤去箇所

図1.ガレキ等落下防止・影響緩和対策の概要



図2.転倒防止金具設置後の状況(10月23日撮影)

【参考】遠隔操作室・オペフロ等の状況



図3.遠隔操作室における作業状況



図4.支保梁吊り上げ作業の状況(10月19日撮影)

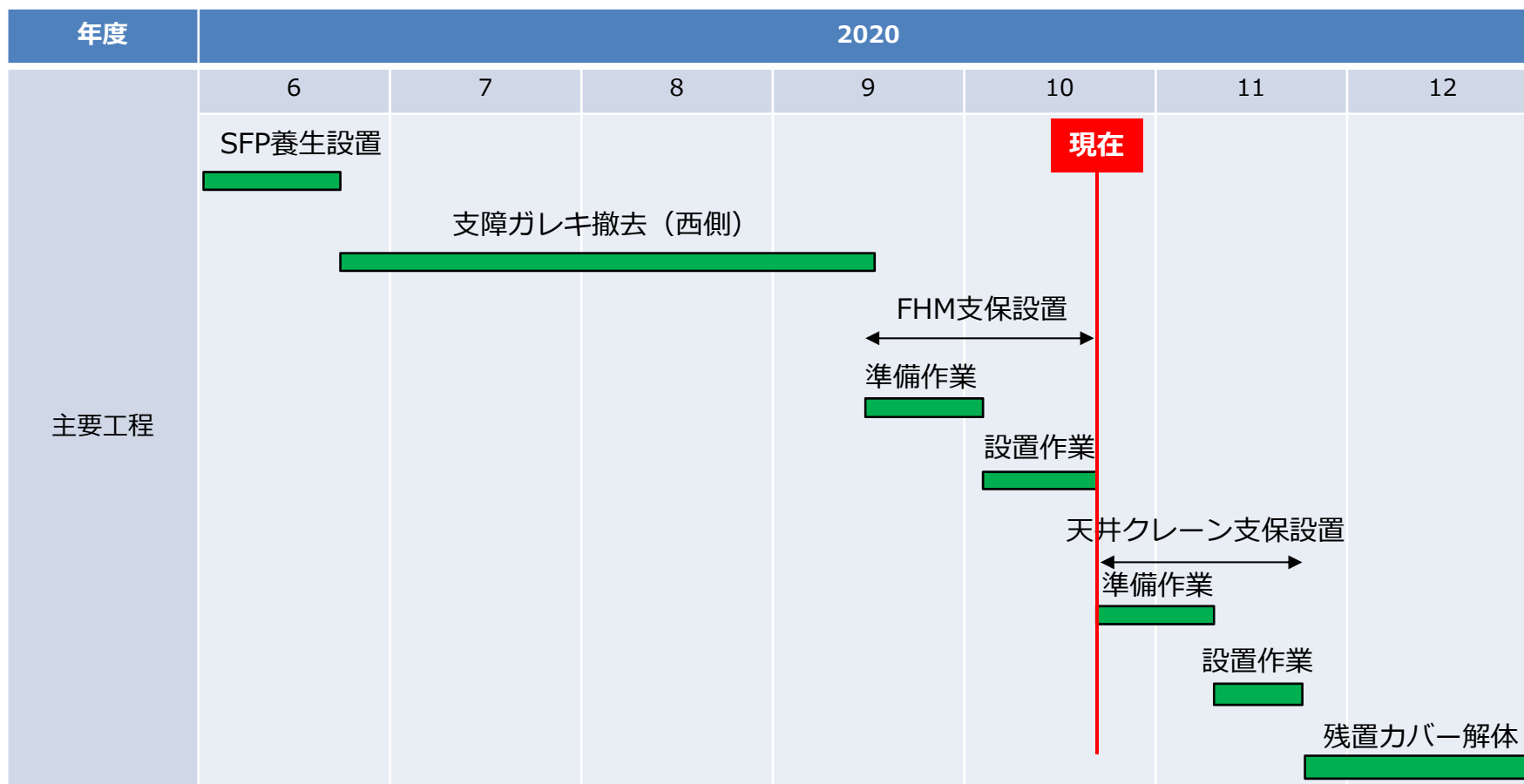


図5.支保梁挿入作業の状況(10月20日撮影)



図6.矢板設置後の状況(10月23日撮影)

【参考】スケジュール



※各工程にはトレーニング、準備期間含む。

上記スケジュールは、工事進捗やトレーニング等により変更となる可能性あり。